

別紙資料 1

保小中&家庭・地域が力を合わせて育てよう「挑む心とやり抜く力で、未来を創る西会津っ子」

成長段階	0歳 - 1歳	2歳 - 3歳	4歳 - 5歳	6歳 - 7歳	8歳 - 9歳	10歳 - 11歳	12歳 - 13歳	14歳 - 15歳
	乳児期	幼児期初期	幼児期後期	学童期	学童期	学童期	移行期	思春期
			年少 年中 年長	小1 小2 小3 小4 小5	小6 中1 中2 中3			
発達段階に応じた子どもの姿	【心身ともに健康で、明るく思いやりがあり、自分で考え進んで行動する子】 ○のびのび育ち生活リズムが芽生える ○気持ちの通じ信頼感が芽生える ○身の回りのものに関わり感性が育つ → ○体を思うように動かせる ○身の回りのことを自分でしようとしたり、したいこと、してほしいことを言葉で伝えたりできる ○子ども同士の関わりを持とうとする → ○全身を上手に使いながら活発に遊ぶ ○1日の生活の流れを見通し進んで行うことができる ○集団的な遊びや協同的な活動ができる ○身近な環境に積極的に関わり、関わり方や遊び方が分かる	【幼児期の終わりまでに達してほしい10の姿】 ①自分の心と体を大切にできる気持ちで行動できる ②自分ですべきことを自覚し行動できる ③相手の思いや気持ちを察して行動できる ④してよいことと悪いことを区別して行動できる ⑤周りの人たちに親しく接することができる ⑥様々なものについて考え、気づき、使うことができる ⑦自然や命の不思議・尊さに気づき大切にできる ⑧数量や図形・模様や文字など必要感をもち使える ⑨言葉により身近な人と心を通わせることができる ⑩感動したことやイメージを膨らませ楽しく表現できる	【小学校低学年までに達してほしい10の姿】 ①心身の健康のために規則正しく生活できる ②すべきことを粘り強く行うことができる ③相手のことを思いやり仲良く生活できる ④よいことを進んで行うことができる ⑤明るく自分から進んであいさつできる ⑥自ら課題を見つけ「こうしたらどうなるかな?」と考えられる ⑦生きること喜び生命を大切にできる ⑧数量や図形・文字などに関心をもち意欲的に学習できる ⑨場面に応じた言葉や動作でコミュニケーションをとれる ⑩様々な発想があることに気づき新しいイメージを作れる	【小学校高学年までに達してほしい10の姿】 ○意欲的に、粘り強く、学習に向かうことができる(②⑥⑧⑩) ○強く優しい心をもっている(③④) ○健康で安全な生活を目指して行動できる(①⑦) ○地域を知り地域に誇りをもつことができる(⑤⑨)	【中学校までに達してほしい10の姿】 ○失敗を恐れず、夢に向かって前進できる ○心を動かす出会いを大切に、感性を磨くことができる ○自分自身を認めて、根気強く努力できる			
こども園・小・中学校	【西会津町特産ミネラル野菜とかかわりながら成長していく西会津っ子】 ＜保小中一貫した取組み＞ ○絵本の読み聞かせやごっこ遊びなどを通していろいろな野菜を知り興味を持つようにします ○散歩や外遊びを通して、自然に親しみ、土や植物に触れることが好きになるようにします ○給食などでミネラル野菜を食べ、野菜が好きになるようにします ＜ICTとかかわり＞ 【子どもたちの時間を豊かにするためのICT活用】 → 【ICT基本の習得】 → 【ICTを身近に】 → 【ICTを活用して】 → 【ICTの働き使い手】 → 【ICTの働き使い手】 【読解力の向上】（絵本や紙芝居などの読み聞かせ） → 【いろいろな言葉の理解と使用】 → 【文の基本構造の理解】 → 【基礎的・汎用的読解力（リーディングスキル）の育成】 → 【読解力から表現力へ】 【いばい甘え（愛情をもとめること）させて、自己肯定感の育成】 → 【自己肯定感の育成】 → 【自己存在感の醸成】							
家庭（上）・地域（下）	○情報をこども園と共有する&保護者間の交流を大切にする ～年長 ○（我が子）大切に思っていることを伝える ○食べることを大切にする ○あいさつ・会話、読み聞かせやスキンシップを大切にする ○自然に接することを大切にすること 成功体験の積み重ねを大切にすること ○「自分でしたい」という気持ちを大切に目にする ○ほめる、認める、励ます ○あいさつ等の声がけをする ～中3 ○読み聞かせ等のボランティア活動をする ～小6 ○地域活動や行事への参加を呼びかける ～中3							
町	○子育て広場「おいでおいで」（こども園内子育て支援室） ○子育てコミュニティ施設「キッズランド芝草」（旧芝草保育所） ○育児相談（こども園・子育て支援センター） ○家庭教育部相談室「西会津小・地域学校協働本部事業」～中3 ○放課後児童クラブ「ひだまり子どもクラブ」（こども園内） ○放課後子ども教室「西小わくわくクラブ」（地域学校協働本部事業） ○西会津かるた大会（小1～一般） ○学校応援・地域交流事業（地域学校協働本部事業）							

西会津町架け橋期のカリキュラム開発会議作成

-

別紙資料3

①健康な心と体

- 友達と一緒に散歩を楽しむ。
- ・畑を見学したり、ミネラル野菜の話の聞いたり、絵本や図鑑を見たりして野菜への関心が高まる。
- 野菜の苗植えを経験して、嫌いな野菜にも興味を持ち始める。
- 畑の水やりで沢山体を動かし楽しみながら取り組む。
- 野菜の生長に関心をもつ。
- 野菜の収穫では水分補給をしながら取り組む。「野菜ものど乾いている。」と気づき水の大切さを知る。
- 野菜の収穫を喜びおいしく食べる。嫌いなピーマンを自分が収穫したので食べてみたらいしかったと喜ぶ。

②自立心

- 虫を見るのも嫌がっていた子が、虫や花に触れて楽しむ友達の姿を見て自ら挑戦し触れることができた満足した。
- 野菜作りに必要な準備物をみんなで確認し、親へ伝える。（自分で長靴を準備したと伝える子がいた）
- 説明を聞きながら、自分で畑に苗の植えつけができたことを満足する。
- 水栽培では、自分が植えたものを世話して植物も生きていくと実感し、続けていこうと取り組む。
- 野菜収穫でナスを回転させて切る、ハサミで切り込みを入れてみるなど、自分で考えあきらめずに取り組む。友達の収穫の仕方を観察して自分も挑戦し達成感を味わう。

③協同性

- 友達と一緒に、保育者の手伝いをする。（野菜の絵本探し）
- 固い土を柔らかくするには、みんなで掘り起こさなくてはならないことに気づく。
- 作りたい野菜は何かを話し合う。ナス・パプリカ・トマト・オクラ・キュウリ・ニンジンなど
- みんなで協力して、野菜のポスター作りをする。
- 野菜ゲームや本をグループ毎に行くと、独断してしまふ子がいたが、周りを見て一緒にできるようになる。
- 野菜の苗植えにみんなで協力して取り組む。
- 収穫では、なかなか取れずに困っている友達を応援したり、一緒に収穫したりして楽しむ。

④道徳性・規範意識の芽生え

- 畑見学をして、耕してみる。スコップを持って順番を待つルールを守り取り組む。
- 畑で見たものを自由に描く。土の中にいた虫や、石ころや、雑草などいろいろと描いていた。何を描いたのかを後で発表する。
- 畑でのルールを静かに聞いてから苗植えに参加する。ルールを守る大切さに気づく。
- 畑の水やりは当番活動で行える日を楽しみに待つ。みんなで野菜が育つために必要な水やりや草むしりを行い野菜が育つを楽しむ。
- 6月に入り、トマトの収穫が始まる。収穫した野菜を自分のものとしなくて、持ち帰る方法を話し合う。
- 収穫した野菜を保育者と一緒に分けながらビニール袋に入れ、持ちやすいように縛る。

⑤社会生活の関わり

- 保育者の行動を見たり、何をしているのかと聞いたりして、自分のことを考え、お手伝いする子が増え始めた。
- 畑仕事をしている近所の方に挨拶をしたり、恥ずかしながらも会話をしたり、手を振ったりして、関わりを楽しむ。
- 野菜の苗植えに参加することで、小学校（一年生、先生方）役場（担当者、農林課の方）の方々と関わり合う。小学校に行けたこと、小学生に会えたことを喜ぶ。
- 小学生がコオロシの卵を発見したことを写真で掲示すると、小学生と一緒に探してみたいと学校への関心が高まる。

ミネラル野菜づくりと「10の姿」との関連



⑥思考力の芽生え

- 野菜作りを小学生と一緒に取り組むことを知らせると学校に行ける期待感が高まる。
- 畑にいたカラスの行動を見て、発見したことや想像していることを話し合う中で、好奇心が高まる。（葉っぱを食べているのかな・違うよー石ころだよ・虫だよ…）
- スコップを使って畑の土の中を探索しながら、友達の意見に触れたり自分が気づいたことを知らせたりする。（根を見て、土の中に白い草がいっぱい伸びている…）
- 土と植物のふしぎ（土の中の生き物が動き回ることによって根が伸びやすくなることなど）を伝えると土への関心が高まる。
- 草をむしりながら、土と植物のふしぎを思い出し、根についた土を見て「虫の糞かな？これは栄養満点だね。」と言いながら友達に見せると、周りの子も真似をして探す。
- 「今日は何するの？」と問いかけてくる子が増え、毎日の活動に興味関心が高まる。
- サツマイモが伸びていることに気づく。土の中のサツマイモを想像して楽しむ。

⑦自然との関わり・生命尊重

- 散歩…畑見学をして、アリ、テントウムシ、モンシロチョウ、カラスなどいろいろな生き物を見つけ触れて楽しむ。身近な草花に関心を持ち、タンポポを見る。その周りへ目が行き、生き物の行動にも関心をもつ。
- 畑をスコップで掘り、土の感触を味わう。土の中の生き物や植物の根っこを見たりして楽しむ。固い土を掘り起こすと柔らかくなることに気づく。
- 水栽培のカイワレ大根を見て芽が出ていることに気づく。土が無くても芽を出したことを不思議がる。双葉や本葉に育っていることを喜び7月末まで観察を続けた。暑さに負け、茶色く枯れ始めたことにも気づく。
- ミネラル野菜の苗植えに参加して、畑の中から出てくる虫に興味をもつ子、畑に長靴が抜かり土の柔らかさに気づく子など、さまざまな発見を楽しみながら参加していた。また、野菜に水をあげなくてはと気づく子もいた。
- 6月上旬からトマトの収穫が始まり実ったことを喜ぶ。水やりや草むしりの効果があったことに満足する。
- 小学生がビオトープで見つけたコオロシの情報を自然コーナーに掲示すると、関心が高まる。
- 野菜の収穫を喜んで行っている。休み明けには野菜が大きくなっていることに気づく。また、鳥獣の食べ跡にも気づき、残念がる。

⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

- 散歩や畑で見つけたアリやテントウムシを数えてみる。戻るとすぐ絵に表現することで、大きさや数への関心が高まる。
- 個人水栽培で蒔く種の数やアサガオとヒマワリは3粒、カイワレ大根は5粒と決め、自分で数えながら準備する。種の数が多いのはカイワレ大根だと気づく。
- 水栽培で芽が出始めた数を数え、青・黄・ケース・ケース無しの3つを比較する。
- 自分が蒔いた種と友達が蒔いた種の芽の数を比べたり、種の種類ごとに誰の芽が一番大きいかを比べたりして楽しむ。
- 畑で収穫した野菜を数えて、同じ数の分、丸シールを貼り野菜別に量を比較する。大量の場合はシール1枚で10個分を記入したシールを貼る。遊びの中で、貼られたシールの数を友達と一緒に数えたり、どの野菜が一番多いか比べたりする。

⑨言葉による伝え合い

- 一羽のカラスに注目して、何をしているのか？気付いたことや感じたことを友達と話し合う。
- 自分はどうな野菜を作りたいのかを発表したり、友達の意見を聞き入れたりする。
- 畑を掘って、発見した動植物をすぐに知らせたり、土の感触を知らせたりする。
- 見本水栽培のカイワレ大根に芽が出たことに気づき友達に教える。自分達もやりたいと意欲を伝える。個人水栽培を始めると、芽の伸び方がまちまちであることに気づき日々会話が盛り上がる。ケースの色で生長が違ってくることに気づく。
- 当番で野菜へ水やりをしている時に気づいた紫色の綺麗な花は、茄子の花だと知り、みんなへ知らせる。
- 野菜の収穫でトマトの中に青虫が入っていることに気づき注目する。何をしているのかを想像したり園に戻って図鑑で調べたり友達に教えたりする。

⑩豊かな感情と表現

- 散歩で見つけた生き物を見比べ、色と模様や大きさの違いに気づき楽しむ。
- ままごと遊びで、野菜を並べたり、料理して皿に盛り付けたりするなど、野菜への関心が高まる。
- 戸外遊びは、植物に興味を持ち、中でも根っこ探して草むしりをしては、友達と長さを比べて楽しむ。
- 畑での発見発表を数人行った後、自分が見たものを思い出しながら自由に、絵で畑を表現する。
- ・小さな発見から自分のイメージが広がって表現を楽しむ。ミミズ、ダンゴムシ、アリ、アリの幼虫、石ころ、葉っぱ、根っこなどを描いた。中には、花や虹、ハートなど見えない物を想像して描く子もいた。
- ・絵具で土を塗ると中からはじき出ることを楽しんだり、不思議がったりする。
- ・絵に表現することで、畑への関心が高まる。
- 野菜の苗が育ち花を咲かせたことに気づき、何の花かを考えてみたり、赤く実り始めたトマトを見たりして楽しむ。
- 粘土を捏ねて野菜を作り、何の野菜かを友達と話し合いながら遊ぶ姿が見られ、野菜収穫に関心が高まっている。